

第3章 研究のまとめと今後の課題

1. 研究のまとめ

各事例における協同して生活する姿から見えた「幼児らの学び」を検討する中で、「協同する姿を促す環境の構成」「協同する姿を促す教師の援助」の在り方を明らかにしてきた。

(1) 協同して生活する姿から見えた幼児の学び

幼児らの学びを「じぶん」「ひととのかかわり」「ものとのかかわり」「こととのかかわり」の4つの視点で分類した。(96 ページ)

協同して生活するようになるためには、教師や友達と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを軸に、幼稚園で出会う様々な「ひと」とのかかわりを深めていくことが大切であるといえる。3歳児は、教師と共にしたいことを見つけて遊ぶ楽しさを繰り返し味わいながら、友達の存在に気づいていく。4歳児では、教師や友達と一緒に楽しく遊ぶ経験を積み重ねながら、イメージを共有して遊ぶ楽しさを学んでいく。さらに5歳児になると、思いや考えを伝え合いながら友達と目的を共有しながら活動するようになる。また、友達と一緒に生活する中で自己や他者を客観的に見るができるようになり、そのことによってそれぞれが自分の役割を認識し、それぞれが担う責任感も学ぶことができるようになってきていることも見えてきた。

このような過程において、本園では一人一人が強い個（じぶん）をもつことが大切であることを共通理解してきた。3歳児では、環境とかかわり自分自身が生活を楽しみながら自己充実を図っていく。4歳児になると、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう経験を通して一人一人が自分自身に自信をもっていくようになる。また、思いや育ちの異なる友達や教師とのかかわりの中で、他者の思いや考えを知り、自分の気持ちに折り合いをつけていくようになる。このような生活を通して、5歳児になると他者の思いを受け入れながら、友達と折り合いをつけることもできるようになる。またそれぞれが大切な存在であると、互いに尊重しながら、共に学び合っていくことができるようになっていくと考える。

(2) 協同する姿を促す環境の構成

幼児の協同する姿を促す環境の構成は「もの」「ひと」に分類した。さらに「もの」については「素材・遊具・自然」「場・空間」の二つに分類することにした。(97 ページ)

3歳児にとって、まずは自分が安心して、じっくりとかかわることができる場があることが大切である。その後、一人一人が安定して生活することができるようになるにつれて、友達を意識することができる。その為にも、友達を意識することができるコーナーの設定や遊具の提示が大切であることが見えてきた。

4歳児でも、幼児一人一人が安心してかかわることができる場を設定することはもちろん大切である。加えて、友達と共通のイメージをもつことができる環境が必要であることがわかった。その環境を設定する時には、幼児にとって身近であり、同じイメージをもつことができるもの（おにぎりや野菜）、また幼児が自ら容易に扱うことができ、自分達でイメージするものに形を変化させることができるもの（素材、材料、自然物）が有効であることがわかった。

5歳児は、これまでの経験の積み重ねの中で、身近にあるものは自分達で使いこなすことができるようになってきている。その為、幼児が遊びに応じた素材を自分達で選択することができるような提示の仕方が大切である。しかしそれだけではなく、友達と協力しなければ扱うことができない素材や、5歳児にとってより共通の興味関心をもつことができる魅力的なもの（道具や素材）を提示することも、協同する姿を促す環境として有効であると考える。

（3）協同する姿を促す教師の援助

幼児の協同する姿を促す教師の援助を振り返る中で、まずは幼児が「安心・安定」しながら生活することが大切であると再確認した。この安心・安定する姿を基盤に、「自己発揮」することができるように援助することと同時に、幼児らの「かかわりの広がり」「かかわりの深まり」を願い援助していくことが必要だと捉え分類した。（98 ページ）

3歳児にとっては、安心・安定することができるよう援助することが大切である。中でも、思いに寄り添い、思いを引き出しながら、幼児一人一人がありのままの姿を表出することができるように援助することは、幼児の自己発揮を促す支えとなっている。そして、教師がモデルとなり、一緒に遊ぶ仲間として生活していくことで、幼児は他者の存在に気がつき、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じていく。

4歳児では、幼児らがかかわりを広げることができるように、モデルとなり、遊びに必要な場やアイテムをつくったり、素材や遊具の使い方を示したりしながら、幼児が友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができるように援助することが大切である。また、一緒に遊ぶ仲間となり、友達の思いや考えを伝え合いながら遊ぶ経験を積み重ねることができるように援助することも、幼児らのかかわりを広げていくことにつながっていくことがわかった。中でも幼児らがつまずいたりいざこざが起きたりした時、具体的に状況を示したり視点を変化させたりしながら、幼児が自分達で思いを伝え合いながら、かかわり合うことができるように援助することが大切である。

5歳児になると、かかわりを深める援助が大切になってくる。これまでの経験の積み重ねを通して、自分の行動を振り返ったり、自分達の置かれている状況に気づいたりすることができるような場を設定し、自分達で考えさせる援助が必要である。このような援助の積み重ねが協同する姿を育むことになるのではないかと捉えた。

2. 平成 22 年度版教育課程

現教育課程を見直し、平成 22 年度版教育課程を作成した。(103～106 ページ)

再編成を行う中、3 歳児の生活には、大きな変化はみられなかったものの、4 歳児、特に 2 年保育 4 歳児では、入園前の生活の様子によって、子どもの育ちに差があると考えた。そこで、期の育ちを見直すと共に、育ちの過程をゆるやかに捉えなおした。

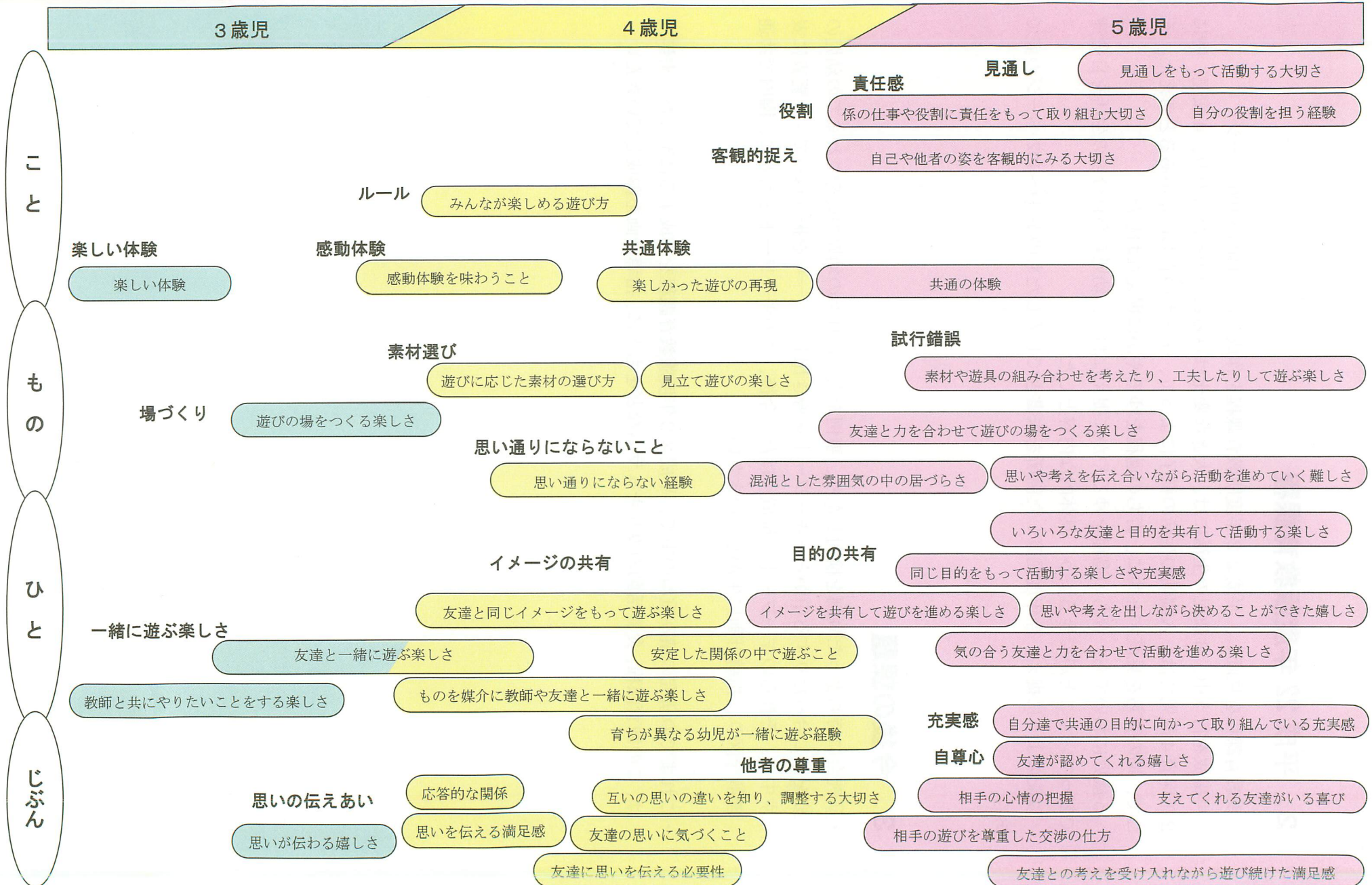
5 歳児においても、育ちの過程をゆるやかに捉えなおし、幼児らが自分達の生活を自分達で創っていくことができるよう、具体的な内容とした。

以記のように捉え、今年度見直した箇所を朱書きでしめしたものが 99～102 ページの表である。

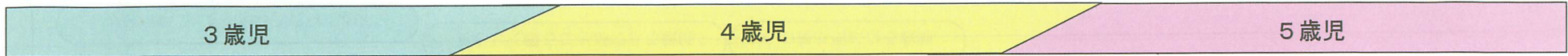
3. 今後の課題

- ・研究会に持ち寄った事例を検討したり、事例をもとに日々の幼児の姿やこれまでの幼児の姿を話し合ったりする中から、キーワードを導き出した。一年を振り返って、一覧表に表す中で、それらのキーワードを位置づけた。今後、このキーワードをもとに、園内で共通理解を図り、指導計画に生かしていきたい。
- ・これまでの研究の積み重ねの中で、平成 22 年度版教育課程を作成するに至った。来年度は、この教育課程、食育活動のカリキュラムなどをもとに、指導計画を編成していきたい。

協同して生活する姿からみえてきた幼児らの学び

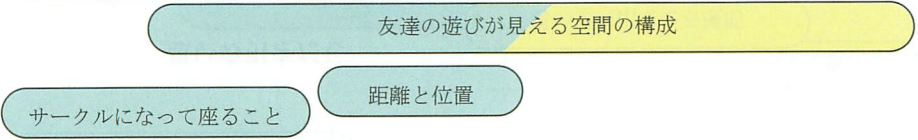


協同する姿を促す環境の構成



場・空間

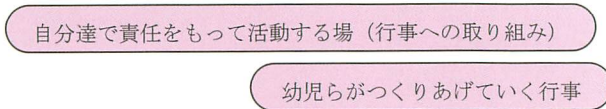
友達を意識することができる遊びのコーナー



じっくりとかかわることができる場



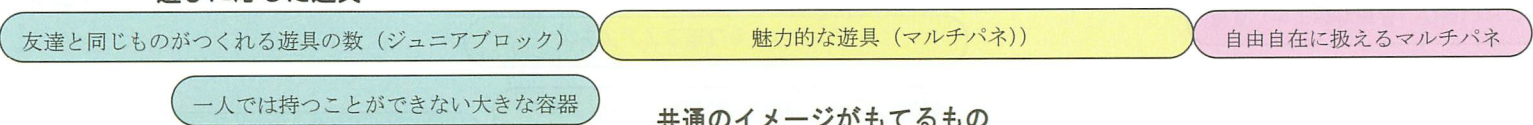
責任をもって活動する場



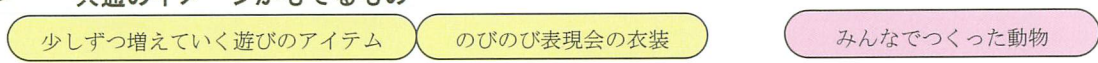
もの

(遊具・素材・自然)

遊びに応じた遊具



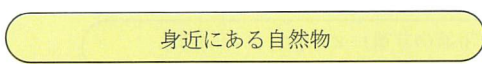
共通のイメージがもてるもの



遊びに応じた素材



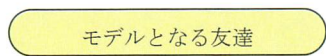
自然物



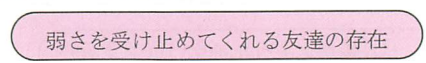
ひと

(友達)

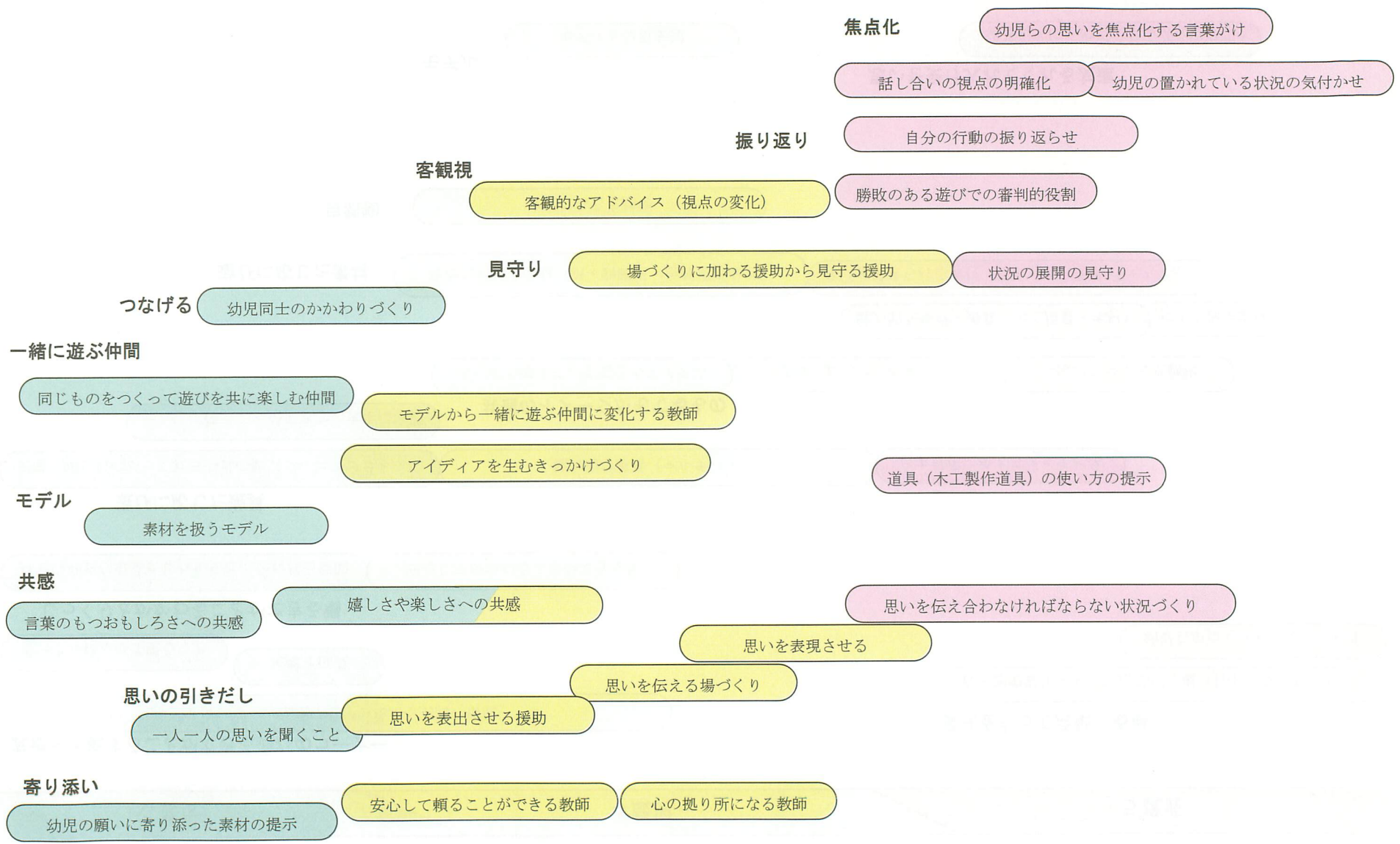
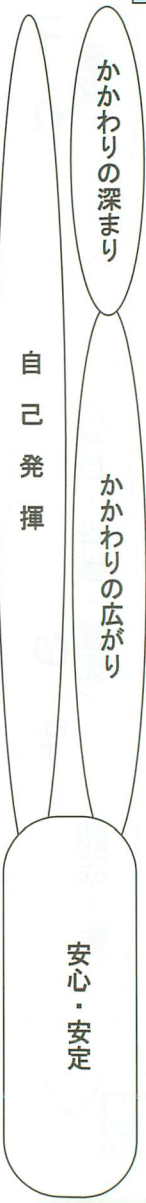
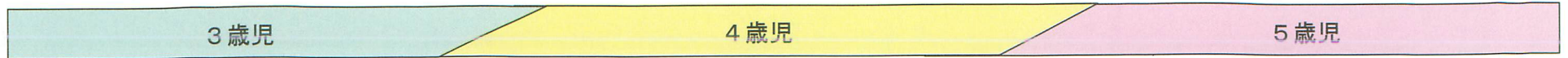
モデル



思いを受け入れてくれる友達



協同する姿を促す教師の援助



教育課程（2年保育児）

〈教育目標〉一人一人の幼児が自分なりの力を発揮し、友達とかかわり合いながら生きる力をやしなう

〈目指す子ども像〉 いきいきとあかるいこども よくみ、よく考えるこども 自分から進んでものごとをすることも 豊かな美しい心をもつこども 友だちとなかよく遊ぶこども

	教師とかかわりながら自分が創る自分の生活	教師や友達とかかわりながら自分が創る自分達の生活	友達や教師とかかわり合いながら自分達が創る自分達の生活
期		教師や友達と触れ合ったり、好きな遊びをしたりしながら、幼稚園生活に親しみ安定していく時期	友達とのつながりを感じながら、自己の力を十分に発揮して生活に取り組んでいく時期
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や友達に親しみ、触れ合いながら遊ぶことを楽しむ ○ 新しい生活に興味をもち、喜んで登園する ○ 身近な自然や動植物に触れ親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しみ、興味や関心を広げる ○ 友達と思いを出し合いながら、共通のイメージをもって遊ぶ ○ 身近な自然に興味をもつて遊びに取り入れる
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできることは自分でしようとする ・ したい遊びを見つけて遊ぶ ・ 教師や友達と触れ合ったり、遊んだりすることを楽しむ ・ 教師が提示した環境に興味をもってかかわる ・ 教師や友達の話を親しみをもって聞く ・ 自分のしたいことを伝えたり、分からないことを尋ねたりする ・ 園庭の自然や動植物に触れ親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のは自分であるが生活する ・ 自分のしたい遊びを思いっきり楽しむ ・ 全身を使って遊ぶ楽しさを味わう ・ 裸足になって遊ぶ心地よさを味わう ・ 教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ ・ 友達と物を媒介にイメージを共有して遊ぶ ・ 教師や友達と一緒に遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ ・ 遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを知ったりする ・ 園庭の自然や動植物 ・ 身近な自然に触れ親しんだり遊びに取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と考えを出し合って生活しようとする ・ 気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ ・ 簡単なルールのある遊びなどを通して、ルールや約束を守って遊ぶ楽しさに気づく ・ 5歳児のしていることに興味をもち、真似をしたり、いろいろなことに挑戦したりする ・ 友達と一緒に遊びに必要な物や場を準備したりつくったりする ・ 自分の思いを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする ・ 身近な自然や動植物に触れ親しんだり、遊びに取り入れれたりする

教育課程（3年保育児）

〈教育目標〉一人一人の幼児が自分なりの力を発揮し、友達とかかわり合いながら生きる力をやしなう

〈目指す子ども像〉 いきいきとあかるいこども よくみ、よく考えるこども 自分から進んでものごとをすることも 豊かな美しい心をもつこども 友だちとなかよく遊ぶこども

	教師とかかわりながら自分が創る自分の生活	教師や友達とかかわりながら自分が創る自分達の生活	友達や教師とかかわり合いながら自分達が創る自分達の生活
期	教師と触れ合ったり、好きな遊びをしたりしながら、幼稚園生活に親しみ安定していく時期	新しい教師や友達、身近な環境への興味や関心を高めながら自分の遊びを広げていく時期	身近な環境への興味や関心が高まり、自分で遊びを深めていく時期
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手伝ってもらったり、教えてもらったりしながら園生活に慣れ、安心して過ごす ○ 教師や友達に親しみ、ふれ合いながら遊ぶことを楽しむ ○ 身近な自然や動植物に関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ ○ 教師や友達と一緒に遊んだり、活動したりすることを楽しむ ○ 身近な自然や動植物に触れ親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しみ、興味や関心を広げる ○ 友達と意思を出し合いながら、共通のイメージをもって遊ぶ 共有して ○ 身近な自然の様子に気づいたり、動植物に触れ親しんだりする き、興味をもって遊びに取り入れる
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気に登園する ・ 身の回りの始末や生活の仕方がわかり、自分なりにしようとする ・ 気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ ・ 教師や友達と一緒に過ごすことを楽しむ ・ 友達の存在に気づき、名前を覚えたり、一緒に遊んだりする ・ してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする ・ 身近な生き物や草花を見たり、触れたりしながら親しみを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のことは自分でしながら生活する ・ 自分のしたい遊びを思いっきり楽しむ 全身を使って遊ぶ楽しさを味わう ・ 裸足になって遊ぶ心地よさを味わう ・ 教師や気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ ・ 教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ ・ 新しい友達がいることに気づいたり、仲良くしようとしたりする ・ 教師や友達と一緒に遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ ・ 遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを知ったりする ・ したこと、見たこと、聞いたことなどを話す ・ 教師や友達の話を親しみをもって聞く ・ 園庭の自然や動植物に触れ親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と考えを出し合って生活しようとする ・ 友達と物を媒介にイメージを共有して遊ぶ ・ 簡単なルールのある遊びなどを通して、ルールや約束を守って遊ぶ楽しさに気づく ・ のしていることに興味をもち ・ 5歳児に教えてもらったり、真似たり、していろいろなことに挑戦したりする ・ 友達と一緒に遊びに必要な物や場を準備したりつくったりする ・ 自分の思いを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする ・ 身近な自然や動植物に触れ親しんだり、遊びに取り入れれたりする
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達とのつながりを感じながら、自己の力を十分に発揮して生活に取り組んでいく時期 ・ 友達や教師と一緒に思いや考えを伝え合いながら遊びや生活を進める楽しさを味わう ・ 係の仕事や行事などに自分なりに意欲的に取り組もうとする ・ 身近な自然の様子に気づき、興味をもったり、見たり、触れたり、遊びに取り入れれたりする
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と共通の目的をもち、力を出し あてて生活を進めていく時期 協同して ・ 友達のよさを認め合い、いろいろな友達と共通の目的をもって生活する ・ 共通の目的にむかって相談したり協力したりする中で自分の力を発揮する ・ 身の回りの自然や社会の様子に興味関心をもち、自分からかかわる
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分達の生活や遊びに必要な決まりや約束を話し合って決め、守りながら生活する ・ 見通しをもちながら生活する ・ 気の合う友達とイメージを共有しながら遊ぶ楽しさを味わう ・ 教師や友達と一緒に考えを出し合い、力を合わせながらいろいろな活動に取り組む ・ 自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを受け入れたりする ・ 感じたことや考えたことを相手に分かるように話そうとする ・ 身近な素材や遊具を遊びに取り入れたり、工夫して使ったりする ・ 考えたり、試したり、工夫したりする ・ 絵本や紙芝居を見たり、教師の話 話を聞いたりして、興味関心を広げる 友達や教師の話を聞き、 ・ 季節毎に身近な自然の変化に気づき、見たり、触れたり、調べたり、遊びに取り入れれたりする
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と一緒に活動する中で 出で きたいろいろな問題や課題を話し合い、合意形成しながら進めて いく生じた課題を自分達で解決しながら生活を進めていく ・ いろいろな友達と一緒に遊びながら、遊び方を教え合ったりルールを学び合ったりする ・ 生活の中でルールをつくったりかえたり役割を考えたりしながら、生活をよりよくしようとする ・ 学年全体での取り組みを通して 友達と喜びを共有したり、達成感を感じたりする 味わったりする ・ かがやきたいの活動を振り返り、充実感をもつ ・ 行事にむけての取り組みや係の仕事を振り返り、充実感をもつ ・ 感じたことや考えたことを相手に分かるように話す ・ 友達や教師の話を最後までしっかり聞く ・ 季節毎の 季節毎の自然や社会の変化に気づき、自分の生活に生かそうとする

教育課程（3年保育3歳児）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期		I									II		
		教師と触れ合ったり、好きな遊びをしたりしながら、幼稚園生活に親しみ安定していく時期									周囲の人や身近な環境への興味や関心を広めながら、生活する楽しさを知っていく時期		
発達の プロセス	自分づくり	○興味関心のあるものとかかわろうとする						○かかわりを通して人や身近な環境を知覚する					
	人との かかわり	○遊びを見る ○まねて遊ぶ						○場やものを共有しているがそれぞれが違うイメージや思いで遊ぶ					
	身近な環境 とのかかわり	○身近な環境に気づく						○身近な環境に触れ親しむ					
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 手伝ってもらったり、教えてもらったりしながら園生活に慣れ、安心して過ごす 教師や友達に親しみ、触れ合いながら遊ぶことを楽しむ 身近な自然や動植物に関心をもつ 						<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方がわかり、自分なりに自信をもって生活をすすめていこうとする 教師や友達と一緒にいろいろな遊びを楽しむ 身近な自然に興味をもち、かかわろうとする 					
内容		<ul style="list-style-type: none"> 元気に登園する 身の周りの始末や生活の仕方がわかり、自分なりにしようとする 気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ 教師や友達と一緒に過ごすことを楽しむ 友達の存在に気づき、名前を覚えたり、一緒に遊んだりする してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする 身近な生き物や草花を見たり、触れたりしながら親しみを感ずる 						<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることは自分でしようとする 自分のイメージしたものや好きなものになりきってごっこ遊びを楽しむ 教師や友達と触れ合ったり、一緒に遊んだりすることを楽しむ 教師や友達と一緒に遊ぶ中で言葉のやりとりを楽しんだり、思いを伝えようとしたりする 身近な遊具や用具、素材などを自分なりに使ったり、遊びに取り入れたりする 身近な自然に興味をもち見たり触れたりしながら遊ぶ 					

教育課程（2年保育4歳児）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期		I						II				III	
		教師や友達と触れ合ったり、好きな遊びをしたりしながら、幼稚園生活に親しみ安定していく時期						周囲の人や身近な環境への興味や関心が広がり、自分の遊びを広げていく時期				身近な環境への興味や関心が高まり、自分で遊びを深めていく時期	
発達の プロセス	自分づくり	○興味関心のあるものとかかわろうとする ○かかわりを通して、人や身近な環境を知覚する						○人や身近な環境とのかかわりの中で自分の存在を認識する ○自分と他者との違いに気づく					
	人との かかわり	○場や物を共有しているがそれぞれ違うイメージや思いで遊ぶ ○友達と同じことをしてイメージを共有しようとする						○気の合った友達と同じ遊びを繰り返す					
	身近な環境 とのかかわり	○身近な環境に触れ親しむ						○ものの特性がわかり、楽しむ ○いろいろな物に十分にかかわり楽しむ					
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達に親しみ、触れ合いながら遊ぶことを楽しむ 新しい生活に興味をもち、喜んで登園する 身近な自然や動植物に触れ親しむ 						<ul style="list-style-type: none"> 気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ 教師や友達と一緒に遊んだり、活動したりすることを楽しむ 身近な自然に興味をもちかかわろうとする 				<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しむ、興味や関心を広げる 友達と思いを出し合いながら、イメージを共有して遊ぶ 身近な自然に興味をもって遊びに取り入れる 	
内容		<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることは自分でしようとする したい遊びを見つけて遊ぶ 教師や友達と触れ合ったり、遊んだりすることを楽しむ 教師が提示した環境に興味をもってかかわる 教師や友達の話を親しみをもって聞く 自分のしたいことを伝えたり、わからないことを尋ねたりする 園庭の自然や動植物に触れ親しむ 						<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分でしながら生活する 自分のしたい遊びを思いっきり楽しむ 教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ 友達と物を媒介にイメージを共有して遊ぶ 教師や友達と一緒に遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ 遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを知ったりする 園庭の自然や動植物に触れ親しんだり遊びに取り入れたりする 				<ul style="list-style-type: none"> 友達と考えを出し合って生活しようとする 気の合う友達とイメージを共有して遊ぶ 簡単なルールのある遊びなどを通して、ルールや約束を守って遊ぶ楽しさに気づく 5歳児のしていることに興味をもち、真似たりいろいろなことに挑戦したりする 友達と一緒に遊びに必要な物や場を準備したりつくったりする 自分の思いを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする 身近な自然や動植物に触れ親しんだり、遊びに取り入れたりする 	

教育課程（3年保育4歳児）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
期		III									IV			
		新しい教師や友達、身近な環境への興味や関心を高めながら自分の遊びを広げていく時期									身近な環境への興味や関心が高まり、自分で遊びを深めていく時期			
発達の プロセス	自分づくり	○人や身近な環境とのかかわりの中で自分の存在を認識する									○自分と他者との違いに気づく			
	人との かかわり	○友達と同じことをしてイメージを共有しようとする						○気の合った友達と同じ遊びを繰り返す						
	身近な環境 とのかかわり	○いろいろな物に十分にかかわり楽しむ						○ものの特性がわかり、楽しむ						
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ 教師や友達と一緒に遊んだり、活動したりすることを楽しむ 身近な自然や動植物に触れ親しむ 						<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しみ、興味や関心を広げる 友達と思いを出し合いながら、イメージを共有して遊ぶ 身近な自然の様子に気づき、興味をもって遊びに取り入れる 						
内容		<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分でしながら生活する 裸足になって遊ぶ心地よさを味わう 教師や気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ 教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ 新しい友達がいることに気づいたり、仲良くしようしたりする 教師や友達と一緒に遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ 遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを知ったりする したこと、見たこと、聞いたことなどを話す 教師や友達の話を楽しみをもって聞く 園庭の自然や動植物に触れ親しむ 						<ul style="list-style-type: none"> 友達と考えを出し合って生活しようとする 友達と物を媒介にイメージを共有して遊ぶ 簡単なルールのある遊びなどを通して、ルールや約束を守って遊び楽しさに気づく 5歳児のしていることに興味をもち、真似たり、いろいろなことに挑戦したりする 友達と一緒に遊びに必要な物や場を準備したりつくったりする 自分の思いを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする 身近な自然や動植物に触れ親しんだり、遊びに取り入れれたりする 						

教育課程（5歳児）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期		V [IV]									VI [V]		
		友達とのつながりを感じながら、自己の力を十分に発揮して生活に取り組んでいく時期									友達と共通の目的をもち、協同して生活をすすめていく時期		
発達の プロセス	自分づくり	○他者を受け入れようとする						○幼稚園という社会環境を通して、よりよく生きようとする					
	人との かかわり	○社会的制約を受け入れながら自己抑制をしようとする											
	身近な環境 とのかかわり	○他の友達や集団にも目を向け、かかわっていく						○いろいろな友達と共通の目的をもってかかわる					
ねらい	身近な環境 とのかかわり	○くりかえし好きなことに取り組む						○物の特性を生かし、工夫して自分の生活に取り込む					
		○いろいろなことに自分から働きかける											
内容	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友達や教師と一緒に思いや考えを伝え合いながら遊びや生活をすすめる楽しさを味わう 係の仕事や行事などに自分なりに意欲的に取り組もうとする 身近な自然の様子に気づき、興味をもったり、見たり、触れたり、遊びに取り入れたりする 						<ul style="list-style-type: none"> 友だちのよさを認め合い、いろいろな友達と共通の目的をもって生活する 共通の目的にむかって相談したり協力したりする中で自分の力を発揮する 身の回りの自然や社会の様子に興味関心をもち、自分からかかわる 					
		<ul style="list-style-type: none"> 自分達の生活や遊びに必要な決まりや約束を話し合って決め、守りながら生活する 見通しをもちながら生活する 気の合う友達とイメージを共有しながら遊ぶ楽しさを味わう 友達や教師と一緒に考えを出し合い、力を合わせながらいろいろな活動に取り組む 自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを受け入れたりする 感じたことや考えたことを相手にわかるように話そうとする 身近な素材や遊具を遊びに取り入れ、考えたり、試したり、工夫したりする 友達や教師の話聞き、興味関心を広げる 身近な自然の変化に気づき、見たり、触れたり、調べたり、遊びに取り入れたりする 						<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に活動する中で生じた課題を自分達で解決しながら生活をすすめていく 生活の中でルールをつくったりかえたり役割を考えたりしながら、生活をよりよくしようとする いろいろな友達と一緒に遊びながら、遊び方を教え合ったりルールを学び合ったりする 学年全体での取り組みを通して友達と楽しさを共有したり、達成感を味わったりする 行事にむけての取り組みや係の仕事振り返り、充実感をもつ 感じたことや考えたことを相手にわかるように話す 友達や教師の話最後までしっかり聞く 自然や社会の変化に気づき、自分の生活に生かそうとする 					